

〓各事業所お正月〓

【宅幼老所より】



『南天は意外に作るのが大変!』

つい先日「明けましておめでとうございませす。」と利用者様に挨拶したような気がするくらい、一月はあつという間に過ぎました。ひなたぼっこに勤め始めて二回目のお正月となりました。今年もどうぞよろしくお祈いします。一月は、翌月の二月一日から飾る壁面を創作する担当月だったので午後の午睡後、私の出勤日は利用者様と一緒に壁面を作りました。雪ウサギをフェルトで作り、椿の花と南天の葉を画用紙で作り、南天はお花紙を丸めて作りました。雪ウサギは目の位置で可愛さが違ってきます。それぞれの個性的な雪ウサギが出来上がりました。南天を枝垂れさせるのに一苦労。作るのがこんなに大変だと思っただけだったので苦戦しました。植物に詳しい職員に難しい題材を選んだね。と言われ私は半分涙目になりながら最後のひと手間を加えて利用者様とみんな素敵な壁面を作り上げられて、あく良かったとホッとしました。

(M)

【グループホームより】

『新しい年を迎えて』

去年七月からグループホームで働く事になりました。不安と期待で初出勤を迎え利用者様に「今日から新しく来ましたが、よろしくお祈いします。」と挨拶をしました。笑顔で「お祈いします。どこから来たの?」と尋ねて下さり、お話をしたのを覚えています。帰るときも「明日は来るの?またおいしいごはん作ってね」と言ってお下さる利用様がいて、その言葉で嫌な事があったてもまた頑張ろうという気持ちになります。こちらが励まされていると思えました。

介護の仕事は物を作る、製品ではないので一日一日で変化があります少しの変化も見逃さないように、利用者様と関わって、楽しく無理なく長く働けたらと思っています

(一F・R)

『新年』

新年あけまして おめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。元旦より カルタや書初めのレクリエーションを行う事で、季節を感じていただく時間を大切にしております。またお正月料理として大根の皮むき、人参の皮むきをし、包丁で刻んでナマスを作った頂きました。「昔はお正月前に良く自宅で作ったわ」と懐かしまれておられました。料理を一

緒に作る事で、とても喜ばれて居られる姿をみて調理の機会も増やして行こうと思いましたが。寒さが一段と厳しくなっています。また、ご利用者様の体調管理や感染予防に十分配慮し、職場に持ち込まない様注意に心がけ、ご利用者様が安心して過ごして頂ける環境づくりに、努めてまいります。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

(2F・S)

★新コーナー

ひなたぼっこのご利用者様の中では、ご年齢が百歳をこえた方が多くいらっしゃいます。そこで、長寿の秘訣を聞き出す新しいコーナーを作りました!

『百歳長寿の秘訣は?』

「藤森 せい様」

B型・女性

(好きな食べ物)・まんじゅう

(嫌いな食べ物)・カレーライス

(長寿の秘訣)

秘訣は特にないが、施設のお友達が色々教えてくれた。皆さんのお陰でここまでこれたと思います、本当に感謝です。

(人生の目標)

人に感謝をしつつ生きる事。



「ケアハウスより」

『新しい環境』

初雪が降り、冬本番を迎えました。今月町ではインフルエンザが流行していましたが、施設では感染者が一人も出ず、安心して過ごすことが出来ました。

私がひなたぼっこに入社してから、約半年が経ちました。始めは慣れるまでに時間が掛かり大変に感じる事もりましたが、先輩方が丁寧に教えてくださり、今では一人で様々な業務を任せていただけるようになりました。日々感謝の気持ちでいっぱいです。

ひなたぼっこは沢山の出会いや経験が出来る場所だと感じています。特に利用者さんとスタッフが一緒に楽しめるイベントが多く、自然なコミュニケーションの中で利用者様の近況を知る事が出来ます。利用者様が気持ちよく、安心して過ごしていただける施設だと感じています。これからも様々な環境や壁にぶつかるとは思いますが、スタッフの皆で力を合わせ、前向きに取り組んでいきたいです。今年も健康で安全に、楽しくお仕事が続け



られることを願っています、そして今年もよろしくお願いいたします。

(一F・L)

『正月明け』

新年が明け、一月一日午後の体操後、毎年恒例の福笑い、いろはカルタ・トランプ・脳のエクササイズ(計算カード)・坊主めくり・すごろく等をいくつかのグループに分かれ、それぞれに楽しみました。普段は見られない明るい笑顔をされる利用者様が多く、私達職員も嬉しくなりました。

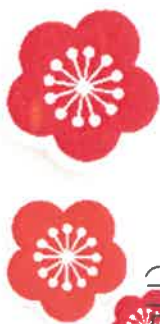


一月二日は、毎年恒例の書初めを行い、思い思いの言葉をそれぞれの半紙に書きました。九十七歳の女性利用者様の「友情」とお書きになった言葉にはとても考え深いものを感じました。友情とは、信頼・理解・支え合いを基盤と

した知人よりも関係性の深い人間関係です。相手の幸せを願い、困難時に支え合い、お互いの成長を喜び合う特別な関係指します。この「友情」の意味を噛みしめ考え、私達は今年一年、笑顔で過ごせることを目標に、健康で明るく過ごして行けることを心から願いたいと思います。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



(二F・Y)



ひなたぼっこ ホームページをご覧ください

発行 社会福祉法人ひなたぼっこ
〒399-0211 理事長 森 正明
富士見町富士見11651-6

ひなたぼっこ通信

2026年
1月号

新年明けまして

おめでとーございませう。

今年も皆様にとつてより良

い一年になりますよう願っ

ております。どうぞご自愛

ください。

「グループホームより」

『ひなたぼっこ農園を振り返って』

例年通り胡瓜とカボチャの苗を植えまし

た。その後は利用者様と一緒に何度か草取りをしたかいてもあって順調に大きくなっていきました。胡瓜も次から次へと実がなり利用者の方と何度も取りに行き浅漬けにして食べる事ができました。カボチャも味噌汁に入れたりして美味しく食べる事が出来ました。胡瓜とカボチャの収穫後は大根と野沢菜の種を巻きましましたが今年は種を巻く時期が遅くなってしまったせいか大根は例年の半分以下の大き

さにしかならず野沢菜も例年より大きくなれず宅老と合同で使うつもりでしたが細すぎる野沢菜が多すぎて量が少なく合同で使う程量がなく宅老の方が全部取ってくれました。細くて大変だったと思います。野沢菜はなかなか難しいです。毎年同じ事を言ってる気がします。成長がみられませんが。来年はどうなりますか。...



そんな事で、グループホームはお裾分けで頂けた野沢菜をキ口漬けしました。野沢菜を洗って頂いたり「美味しくなれ」と言いながら調味料を入れて頂いたりしてお手伝いもしていただきました。野沢菜漬けは毎年とても好評で朝食などにお出しして食べて頂いてます。

今年も皆さんのお陰でなんとか漬ける事が出来ました。美味しく漬かると良いかと、楽しみです。

(一F・K)

『ご利用者様ととも』

月日が経つのは早いものです、あつという間に師走を迎えました。この一年を振り返りますとグループホームでは流行性感染症でご利用者様が辛い思いをされました。ご家族の方々、皆様にはご心配をおかけしたこととありますが、皆元気に過ごされております。季節は春になりお花見に行かれる方もいらっしやいました。ベランダに植えられた野菜の苗

はご利用者様と一緒に水やりなどさせていただき、いちご・きゅうり・トマトの成長を車椅子から・ソファから、ひなたぼっこしながら眺めることを楽しみにされている方もいらっしやいました。夏には育った野菜を収穫し食事にお出しすることも。今年はカメムシが発生・毛虫も舞ってきてベランダに洗濯物を干すことが出来ない日もありました。秋の終わりには窓際にてんと虫も。それからご利用者様には月一回ご希望を聞きながら、手作りの食事を提供させて頂きました。



ご利用者様の中にはご家族とお出かけされ買い物に行ったり、ゆっくり過ごされる方もいらっしやいました。季節ごとにホールの飾りつけをし、十二月にはクリスマスツリーに装飾・電飾で華やかにさせて頂きました。

今年一年無事に過ごせたこと感謝させていただきます。

(二F・K)

今年も宜しくお願い致します。



【宅幼老所より】

『寒さに負けず』

二千二十五年最後の満月はスーパームーンに次ぐ大きさで光り輝いていましたね。

翌朝、寒いと言いなながら利用者様がフロアーに入ってから、席に着き両手を湯呑にて温めながらお隣の方向土話が弾み、所長の朝の挨拶が聞こえないぐらいの笑い声でした。

体操の時間、元氣よく体を動かしている方も居れば眠っている方と様々ですが、継続して楽しく取り組んでほしいものです。

余暇時間になると皆さんの好みで色塗りをされ、二人で協力してジグソーパズルを四十分かけて完成した時の嬉しそうな笑顔は今でも忘れられません。

何度か同じものをするうちに完成までの時間が早くなるのもびっくりです。新しい年も寒さが厳しくなりそうですが元氣で楽しく過ごして行きましょう。

(T・H)

【ケアハウスより】

『日本の生活』

今回は私が知っている日本について、私なりに書いてみました。

私は日本がとても好きで、日本はきれいな国の印象を持っていました。日本には四つの季節があり、今年の二月で日本に到着してか



ら一年がたち、すべての四季を体験することが出来ました。日本は季節ごとに環境が変わり、とても素晴らしい気分になります。私が一番好きな季節は、環境と風景の変化が美しく表れる秋です。木々の葉は淡く黄色や、赤色に染まりそして最後には散り、冬の始まりを告げます。長野県の山々を見て、長野県はスリランカの又ワラエリヤという町にとっても似ていると感じました。また、日本のお店でスリランカのお茶セイロンティーを見ると、とても嬉しく感じます。日本に来るきっかけになった一つとして、子供のころテレビで見たドラマ「おしん」があります。そのドラマが放送されている時、初めて見た平仮名と漢字が好きになりました。私はそのドラマを通して観たあと、日本の文化を体験したいと思いました。私は日本について他に何かないだろうかと調べてみました。それから私は、折り紙・抹茶アート、様々な料理、お寿司、美味しい食べるものなどを通して日本の文化を学んできました。日本はお互いを尊重する礼儀正しく倫理的な人々が住む国で、非常に先進的な技術を持つ国だと思いました。

今月、私の母国では大きな震災に見舞われました。私の家も同じ災害で沈みました。この点を支援するために、日本の医療チームがスリランカに向け出発しました、我が国を助けてくれた日本に感謝しています。

私はこの会社の二階で新しいことを学びなが

ら楽しく働いています。ここに居る大人たちは若いころにスリランカを訪れたことがあり、スリランカに関する情報をよく知っていて、それを私にも話してくれます。こうした大人たちといると寂しさを感じませんが、まるで両親と居るような気分になります。また、私が不慣れな日本語を話すと、利用者様は私に正しい日本語を教えてくださいます。私はそれを繰り返し学んでいき、今では日本語をだいたい話せるようになりました。私はこの会社で頑張って働いて稼いだお金で幸せに暮らしています、今ではスリランカは私の第一の祖国であり、日本は第二の祖国であると感じています。年末になり日本に来てから十カ月がたちました。この十カ月間色々な事が起こりました。いいことも、悪いことも私はそのすべてから人生について何かを学びました。難しい時を超えたらいいことが絶対に来ると信じています。偏見があると思いますが芯を持った常識な人でなければなりません。必要なのは、我慢、そして試練を超えて頑張ることだと常に信じています。今年のこと感謝し、来年が皆様にとって実りのある一年となりますよう祈っております。(NF・W)

ひなたぼっこ ホームページ



発行 社会福祉法人ひなたぼっこ

理事長 森 正明

〒3099-0211

富士見町富士見11651-6

ひなたぼっし通信

2025年
12月号

【宅幼老所より】

『干し柿づくし』

冷たい風に冬の訪れを感じる季節となりました。宅幼老所では、今年もたくさんのお柿を頂いたので、ご利用者様と一緒に、毎年恒例の干し柿作りをしました。皆さんに皮むきをお願いすると、さすが、昔取った杵柄。

上手に包丁を使い、手際よくどんどん剥いていきます。紐入つける作業も手慣れた様子でした。「昔は段ボール何箱もつくったよ」「長野に来て初めてやったよ」「この皮は干して野沢菜漬けに入れるといいよ」「揉むと柔らかくなるからね」などと会話は盛り上がりです。外に干して完成を待ちます。



去年は野鳥にたくさん食べられてしまいました。今年も野鳥にも食べられず、美味しい干し柿ができあがりました。三時のおやつにおだしすると、皆さん「おいしいね」「自然の甘さだね」などと笑顔でした。これからも利用者の皆様と季節の風情を楽しんでいきたいと思えます。

(S)

【グループホーム】

『思い出と未来』

先日、グループホーム一階ではキッチン周りの棚の片づけを行いました。そんな古い物も多くありました。使用していない物や欠けた物などもあり、捨てられずとんとん貯まっていた様です。それらを見ると、以前のグループホームのありさまが見えてきました。

一月のお正月には一人一人お正月用のお盆やセトモノ、利用者と一緒に料理を作っていた道具等、楽しく利用者様と過ごした時間が目に浮かびます。今では職員数も少なく利用者様の身体の都合等もあり、一緒に何かを作ると言う事は難しいのかなあと感じています。ですが時々利用者様から「手伝うよ」などと声を掛けてくださり食器を拭いてくださります。きっとお皿拭きが出来る事で精一杯なのだと思えます。お手伝いお願いしますと声をかけると昔を思い出し、洗い場で同じものを何度も洗う利用者様もおられます。夢ではありますが皆で喧嘩もせず、仲良く気持ちよく生活しつつ、料理等行える施設になればいいなあと思えます。

(1F・K)



『介護という仕事』

介護職といっても色々な現場、色々な介護職がある。知らない事や行ったことのない事現場によって数多くそういう事は沢山各々あるだろう。私が体験した面白いと思います。興味深い事をお話したいと思います。

ある施設の訪問のプロたちが利用者様をお迎えにやってきました。訪問のプロたちは数名でやって来てあつという間に利用者様の様子をチェックし、明るく会話をしている。このころには利用者様と打ち解け合っていました。さすが、いろいろな利用者様に接してきているわけだ。

が、しかし、車椅子を車に乗せる際、自力でスロープを押し上り始めた。なぜリフトを使わない？と“？”が私の頭の中に浮かんできました。

フックのかけ方や、車椅子の固定の仕方・・・楽な乗せ方を理解していないのだ。私はそこで気がつきました、そのヘルパーさんは利用者様の車への楽な乗せ方を気づいていないのだと。

こんなに簡単な事も意外と気が付かない、まだまだ介護士として知らない事も多い常に勉強の仕事なのだ、これからもいろいろ学んでいきたいと思えます。

(2F・Y)



【ケアハウス】

『前向きに』

木の葉も落ち、冬らしくなってきました、雪は何時降るのか楽しみですよ。

今月は職員さんが数名退職されました、その中でもお世話になった方がいます。私がコロナに感染してしまい動けない時食料を届けてくださり、困った時は沢山相談にのってくださりました。相談相手が居なくなってしまう不安もありますし、寂しさも大きいです。

「利用者様でも他の施設に移動になったりなど、色々な都合で施設から居なくなってしまう事は、職員同様心にはっかり穴が開いてしまった様な気持ちになってしまいます。悲しい気持ちも私にとっては大切な気持ちですが、相手の幸せや自分の幸せを考え前向きな気持ちも大切に、頑張りたいなと思います。

今年もそろそろ終わりを迎えようとしています、皆様この一年を振り返りどんな一年だったでしょうか。私は毎年おみくじを神社でひいていました。昨年と一昨年はどちらも凶でしたが、今年は吉が出ました。振り返ってみると確かに笑顔が沢山な幸せな年でした、おみくじも馬鹿にできませんね。



私の今年の目標は「家族や身内、身の回りの人そして自分を大切にしたい。」でした。

去年よりかは大切にできたかなと思います

が、自分の中でまだ目標達成できたと思えていません。この目標を来年にも繋げたいと思います。人との関わりや物の見方考え方に対して、今年は私なりに成長できたなあとと思います、がまだまだ利用者様の様な穏やかで感謝の言葉がたくさん言える人にはなれていません。私は課題や目標が多く山になっていきます。でも考える事は嫌いじゃありません、正直好きでもないので、が考えることが無いよりは幸せな事なのかもしれません。辛い時は感謝の気持ちを忘れずに！

来年は私にとっても、皆様にとっても幸せ溢れる年になる様、願っております。幸あれ☆。



(2F・A)

『故郷をはなれて...』

私の母国スリランカを離れて日本での生活がはや九ヶ月経ちました、日本に住み始めた日から時間が経つのが早く感じられます。その理由はスリランカでの生活と日本での生活の違いです、これらには時間・季節・天気・文化・礼儀などが含まれます。ここでの生活の時間が長くなるにつれ、徐々に溶け込んで過ごせるようになっていきたいと思います。

「雪・アイススケート・桜・花火・チューリップの花」など、日本で初めて見るものが沢山ありました、そしてそれらは私の心に深く印象に残りました。

これまで写真で雪を見たことはありませんでしたが、自分の目で雪を見た時はとても嬉しかったです、まるで子供のよう遊んでいるような気分でした。冬の季節は想像するほど美しいものではないかもしれませんが、雪はとても美しくもすぐに融けてしまい雪の時間は更に短い時間のように感じられます。以前にも写真で桜の季節を見たことがあり、桜の季節にはどこを見ても桜の花で覆われていて信じられないほど美しいものでした。日本の生活に慣れながら日本語を学ぶ必要があります、仕事で受けなければならぬ初任者研修試験には合格する事ができました。職場で私にすべてを教えてくれた先輩の皆さんの助けにより、介護の仕事にもだんだんと慣れてきました。これからもたくさん勉強をして、日本での生活をより楽しく過ごしていきたいと思えます。



(1F・R)



発行 社会福祉法人ひなたほっこ
理事長 森 正明
〒309-0211
富士見町富士見1-1651-6

ひなたぼっこ通信

2025年
11月号

【宅幼老所より】

『笑顔いっぱい！ひなたぼっこ大運動会』

十月二十三日、「ひなたぼっこ大運動会」を開催しました。紅白に分かれて三つの競技を行い、ポリ袋相撲・新聞紙を丸めた棒でボールを相手ゴールに入れる競技(写真参照)・パン食い競争に挑戦しました。特にボールをゴールに入れる競技では白熱した戦いとなり、笑い声と応援の音が響き渡りました。

利用者様からは「ゴールを決められて嬉しかった！」「散歩でかく汗とは違う汗をかいだ！」「パンが美味しかった！」など、沢山の嬉しい感想が聞かれました。笑顔溢れる一日となり、職員一同も元気をいただきました。



【グループホーム】

『誕生日』

今月は三人のお誕生日が重なり豪華なお祝いをしました。一人は百歳になりロウソクの火を間違えて消してしまい、怒られてしまいました。もう一度ロウソクの火をつけ直しましたが、もう一度ロウソクの火をつけ直しました。自分で消され、嬉しそうに喜んでいただきました。また、お祝いホットケーキを作ると、喜んで、食べていただきました。



お誕生日プレゼントには、色紙と服をプレゼントすると、とても喜んでくださり良かったです。二人目の方は九十五歳となりました。ロウソクの火を消すことが出来なかったため職員で消すことになりましたが、ホットケーキは喜んで食べていました。三人目の方は七

十五歳となりました。お祝いのロウソクの火を消していただけなかったので、職員でロウソクの火を消すとても喜んでいただきました。その方もホットケーキを喜んで食べいただきました。誕生日のお祝いを皆で楽しみました。

(1F・H)

『ご家族様へのお手紙』

毎月、利用者様の様子などを、居室担当職員がご家族様へてお手紙を書いていますがたまには利用者様も何か伝えたいことがあるのでは？と書いていただくことになりました。そんな中、「自分で書くわ」という方もおられ、「ちょっと自分では書けないわ」という方は職員が代筆しながらお手紙を仕上げてくださいました。少し照れて「いつも顔を見てるからいいよ」とおっしゃる方も、どこか嬉しそうなお様子。

利用者様の思っている事、伝えたい事があためて伝わってききました。「たまにはいいわね。こういうのも。でも話したいことがいっぱいあってまとまらないわ。」とおっしゃっていましたが、考え書いている姿はとても嬉しそうでした。

(2F・F)



たまには伝えたいことをお手紙にし、書いてみるのもまた、良いですね。

【ケアハウス】

『秋』

我が家には小学生の子供が二人います。今年の夏は暑い日が長く続き、秋はいつくるのかなあと思っていました。やっと秋らしい気候になってきましたね。我が家の子供たちは学校で運動会に向けての練習が始まり、頑張っています。またクラスで育てていたサツマイモが大きく育ち、先生やお友達と一緒にお芋ほりをして、食べたりしたようです。子供たちに季節を感じてもらいたくて、玄関にハロウィンの小さなオレンジ色のカボチャや、リースを飾ったりしております。子供たちのおかげで、日々生活に追われる中でも、秋の季節を感じ楽しんでおり、幸せな気持ちになります。これからますます、日々の生活の中家族で、季節を楽しんで過ごしていきたいと思えます。ご利用者様も、季節の変化を感じ、少しでも豊かな気持ちで生活していただけたら嬉しいです。



【うちの小さな癒し係「ニャアン」】

六月の終わりがころ、台所の向こうから「ニャアン、ニャアン」と仔猫の鳴き声が聞こえてきました。裏口を開けると、仔猫が親を探るかのように必死に鳴いています。ミルクをあげると夢中で飲みますが、手を伸ばすとサッと逃げてしまいます。

ノラ猫らしく、人には慣れていない様子でした。よく通る鳴き声が印象的で、当時のアニメの登場人物の名前を借りて「ニャアン」と名前をつけました。名前呼ぶと「ニャアン」と返事をしながら、どこからともなく姿をあらわします。

毎日ごはんをあげるうちに距離が縮まり、今では膝の上が大好きな甘えん坊に成長しました。帰宅すると私にすり寄り、丸くなって眠る背中をなでていると、やさしい幸せな気分が包まれます。小さな命とのふれあいは、心を穏やかにしてくれますね。

利用者のみなさんにも、動物や小さなお子さんとふれあう機会がもっと増えたらいいなと思います。そして、そんなふれあいをきっかけに、ふれあった子ども

たちの中から未来の介護士さんが育ってくれたら、それはとてもステキなことですね♡



ひなたぼっこ ホームページ
http://www.hinatahokko.com

発行 社会福祉法人ひなたぼっこ

理事長 森 正明

〒399-0211

富士見町富士見11651-6

ケアハウスで咲いていたコスモスです。

(2F・H)



ひなたぼっこ通信

2025年
10月号

【宅幼老所より】

〈残暑〉

今年の夏は猛暑でしたね。私が子どもの頃は、こんなに暑くなかったと思います。お盆が過ぎても涼しくならないということは、農作物のでき、水不足など色々な方面に影響が出ますね。

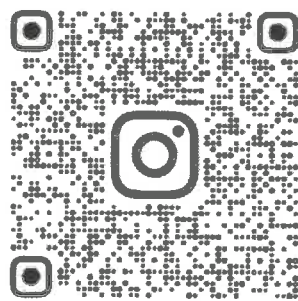
そうなる中熱中症予防の水分補給が大切です。利用者様も来所時、体操の後、入浴後などに水分補給をします。お茶、スポーツ飲料、コーヒーなどお好みの飲み物をお出しします。

朝来所されても目を閉じていて眠そうな様子のAさんがいらっやいます。お茶を飲んで頂きたいのですが、声をかけても目を開けず、口も開けません。そんな時近くの席に座っているBさんが「おはよう、おはよう、お茶だよ。」と声をかけて下さいます。するとAさんはうっすら目を開けて、Bさんの方へ顔を向けます。Bさんの優しい声に「おっと、目を開けてみよう。」と思われたのでしょうか。Aさんはゆっくりお茶を飲まれました。利用者様同士の優しさを感じます。

少し秋らしい季節になると良いですね。体調には気を付けて元気に、笑顔で過ごしましょう。

(S・K)

宅幼老所のInstagramが開設されています。是非ご覧下さい!!



@HINATABOKKO_2761

【ケアハウスより】

〈入浴支援〉

ケアハウスひなたぼっこに入職して四ヶ月が経ちました。先日、始めて入浴支援をさせて頂いた時に、機械浴を担当しました。これまでの介護経験の中で、機械浴の支援は初めてだった事もあり、私にもできるかなと心配になりましたが、先輩の職員さんから、色々教えてもらいながら、支援をさせて頂きました。なかなか上手くいかず、「このまま入浴支援ができるのかな?」と心配になりましたが、ご利用者さまより、「気持ち良か

ったよ。ありがとう」と声を掛けてもらい、嬉しくなりました。そして、「頑張らなきゃ」と言う、気持ちになりました。まだまだ機械浴には慣れてはいませんが、これからも、ご利用者さまの笑顔と、「気持ち良かったよ」と言ってもらえるように、入浴支援をしていきたいなと思います。

(1階 M)

〈この仕事について〉

気が付けば、もう十月になりますね。流れる風も涼しくなってきた、木々の葉っぱも色が付いている頃かな?今年、綺麗な紅葉が見れると良いですね。さて、私がお仕事に就いた理由をお話したいと思います。もともと私は、看護師やカウンセラーを夢に見ていたのですが、親の「就職してほしい」との意向もあり、私は興味があった介護職、家から近くの綺麗な外観に魅かれ、ケアハウスひなたぼっこに就職する事を決めました。仕事を始めて、最初の頃は、不安や馴染めない事に、少し孤独感を感じていましたが、利用者様からの温かい言葉、優しい先輩職員の方にも支えられ、五年近く、ひなたぼっこで働くことができています。

私は、介護の仕事に就いて、良かったなと思っています。多くの失敗や喜びが経験となり、成長に繋がります。今の私があります。

利用者様に、「ありがとう」の言葉を頂きますが、私が「ありがとうございます」とお返ししなければと思えるほどに、勉強をさせて頂いています。皆様感謝の気持ちでいっぱいになります。

本当に、ありがとうございます。(2階 A・H)

△初めての嬉しい事△

私には、長男と次男の二人の子供がいます。

昨年十一月に長男に女の子、今年一月に次男に男の子が生まれ、私としては初孫を持つお婆ちゃんになりました。

長男とは、今年から同居しているのですが、女の子を育てた事の無い私にとっては、毎日が驚きの連続、ハラハラしながら過ごしています。女の子の成長は、とても早いと感じます。動作も色々覚えてきて、可愛らしく笑ってくれます。歯も、五本生えてきました。すっかり、子煩悩のお婆ちゃんになってしまいました。

次男は、家族で北海道に住んでいるので、なかなか会うことができませんが、写真をよく送ってくれます。

次男の笑い顔は、私の夫によく似ているので、早く会いたいと思っている、今日この頃です。いっぺんに、男女二人の孫が同じ学年に生まれたことで、おもちゃを買ってあげたり、洋服を買ってあげたりしたら、喜んでくれるかなと思うと、今から楽しみで、私もいつまでも元気でいようと思えます。

仕事も家庭も、毎日が大変ですが、ご利用者様から「いつもニコニコして、元気だね。今日もヨロシクね」と声を掛けて頂く事が、私の励みになっています。

これからも、ご利用者様のために、かわいい子供、二人の孫のために元気で頑張っていくと思えます。

(2階 F・M)

【グループホームより】

「手作り昼食」

グループホーム2階では毎月最終日曜日のお昼は手作りです。

メニューはご利用者さまからのリクエスト、季節や旬の食材などを盛り込み家庭の味をできる限り再現しています。

今月はご利用者さまが食材を切ったり、揚げたり、盛り付けたり・・・

入所されるまでは、台所に立っていたみなさんですからこちらが学ぶことばかりでした。

薄焼き卵を上手に作られ、手際よくひっくり返したり、ポテトサラダを湯呑みに入れてひっくり返して可愛く盛り付けをされたり。

「ご本人様からは、「これで良いの?」と、不安げな様子でしたが、近くで盛り付けをしていたご利用者さまから「きれいに盛り付けたね」と声をかけてもらうと、とても嬉しそうな表情をされていました。



「ご利用者さまが出来る事は無理の無い程度に、取り組んでいただくこと」

“役割・はりあい・意欲”など生活の中で自然と生まれていく環境になるよう支援していきたいと改めて感じる時間でした。

さて、今回のメニューは・・・文章の中にヒントはありますのでご想像いただけたらと思います

(2階 F)



発行 社会福祉法人ひなたぼっこ

理事長 森 正明

〒399-0211

富士見町富士見11651-6



ひなたぼっこ ホームページ
はこちらをご覧ください